

**4月「研究会紹介ぷらす～手話言語について
考えよう～」事務局担当。**



「口話教育」がどのように始まったかをDVDで視聴し、その後、さいたま市聴覚障害者協会の川津雅弘会長に、2011年の障害者基本法の改正から現在に至るまでのろう運動についてお話ししていただいた映像を視聴しました。

7月「『SSC』って なに？」 機関紙部担当
障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会の國松公造さんに「SSC」について、ご講演いただきました。低料第三種郵便物認可の歴史や、正式には文字化されてはいない「決まりごと」などをお話しいただきました。

**9月「歯と口のおはなし」～皆さんのお口は健
口(けんこう)ですか？～** 女性・高齢部担当



区役所保健センターから講師をお招きし、歯や口のトラブルの予防方法・正しい歯磨きなどについてお話しいただきました。

11月「エコ検定に挑戦しよう」

福祉対策部担当。市環境総務課に出前講座。日々1人当たりおにぎり1つ分の食品ロス、しかも商業施設よりも家庭のほうが無駄を生んでいるとのこと。市民が賢く生活を送れば、環境に使われる予算を減らすことができます。講師の楽しくわかりやすいお話で、考えを改めるきっかけとなりました。

2月「支援の輪を広げよう～「春里どんぐりの家」紹介とみんなの提案～」

どんぐり支援部担当。春里どんぐりの家の仲間と職員さんに講演をしていただきました。作業の様子や仲間たちの生き生きとした活動



や生活の様子が伝わってきました。質問にも仲間が詳しく答えてくれました。

6月「やってみよう 考えてみよう

災害時の睡眠 zzz」 防災委員会担当



テーマは「災害時の睡眠」手元にありそうな品物を用意し、避難所での睡眠を考えました。きこえない人の防災を考えて続けていくことが重要だと思います。「楽しみながら考える」をモットーに次年度も企画します。

**8月「祝 さいたま市手話言語条例 見つめ直そう
ろう運動」** 運営委員会担当

ろう運動の黎明期である昭和40年台から、少し進んだ「ろう運動近代史」を中心に、岡野敏昭さん、川津雅弘さんにご講演いただきました。今後のろう運動は「共生社会の実現」だというお話に大きくうなずいていました。

**10月「令和7年度さいたま市の帯状疱疹ワクチン
予防接種」**「身近ですよ！設置手話通訳者班」

設置手話通訳者班担当、2本立て。前半は市保健所から講師をお招きして、帯状疱疹が起る原因、ワクチンおよび接種の種類など具体的にお話しいただきました。後半は、設置手話通訳班を紹介しました。

**12月「手話班ってなに？」～私たちの活動、
紹介します～** 手話通訳者班担当

後半は、班員2名にインタビューを行いました。経験年数に違いはあっても、きこえない人、きこえにくい人からいただいた印象的な一言を深く



胸に刻み、活動の支えとしてきた、とそれぞれの思いが語られました。

**3月「書いて伝えてみよう！～筆記用具を持って
集まれ～」**「中難部の活動」

要約筆記者班、中難部担当。避難所でのアナウンスを聞いて書き、きこえない・きこえにくい人に伝える体験をしてもらいました。後半は中難部が1年間の活動報告をしました。

